

「みんなの建設業★業界研究フェスタ」を開催

当会は2月15日(木)、(一社)東京建設業協会と共催し、建設業界への就職を目指す学生を対象とした「みんなの建設業★業界研究フェスタ」を東京国際フォーラム・ホールE1で開催した。両会から参画した企業は過去最多となる100社。2019年3月卒業予定の土木系・建築系の学生約250名に企業説明を行った。



会場内の様子

■東京建設業協会 飯塚会長からのメッセージ

説明会に先立ち、主催者である(一社)東京建設業協会の飯塚会長より「たくさんの企業ブースを訪れ、建設業に対する理解を深めていただくとともに、仕事の魅力とやりがいを感じてほしい」と参加者にメッセージを送った。

■就職活動の最新動向と建設業の魅力を知る

続いて株式会社マイナビの吉本隆男編集長と、日本マルチメディア・イクイップメント株式会社の高田守康代表取締役による2つの講演会を行った。

吉本氏は「19卒市場の最新動向と選考対策」と題し、学生が見落としがちなポイントである“複数ある企業のうち、なぜこの会社を選んだか?”という視点に対して、多くの企業が集まる合同企業説明会は企業をよく知り差別化のポイントを理解するチャンスであることを述べた。また、3月から企業エントリーが開始となるため、今すぐ「応募資料準備」「模擬面接」「筆記試験対策」を行う重要性を説明した。

高田氏は「建設業の現状と今後 ～建設現場の『新3K』って、何?～」と題し、産業別の市場規模や建設産業の重層構造について紹介。新3Kに



東京建設業協会の飯塚会長



マイナビの吉本編集長



日本マルチメディア・イクイップメントの高田社長



マイナビ吉本編集長の講演の様子



各社ブースでの説明会の様子

については、建設業の賃上げ幅が全産業で最大であることや、ICT土工などの技術革新が進んでおり、建設業の生産性が向上している実情を解説した。何十年も残り、スケールも大きい建造物をつくることのできる建設業ならではの魅力を語っていただいた。建設業で働く自分の姿を想像できる具体的なお話に、学生たちは興味深そうに耳を傾けていた。

■あらゆる角度から建設業界・企業を見る

講演会終了後は、学生が企業ブースを訪問した。前半の約1時間半は入場時に配布している「出

いのカード」に記載した3社を訪問し、4社目以降は自由訪問とする形式にすることで、先入観なくより多くの企業を知ってもらうよう工夫を凝らした。

各ブースは少人数制となっており、ビッグプロジェクトや先輩社員からのメッセージを映像で紹介するなど、企業の特徴や具体的な業務内容を分かりやすく説明。学生からは「社員の方との距離も近く、質問しやすい雰囲気良かった」、「知らない会社を訪れてみたら、業務内容を分かりやすく説明してもらえたので企業選びの参考になった」といった感想が寄せられた。